令和6年度　基本評価調書	所管部局	保健福祉部	所管課	子ども政策企画課、子ども家庭支援課

施策名	子どもの視点に立った施策推進	施策コード	0404
政策の柱	子ども・子育て	政策体系コード	2(1)B
関連重点戦略計画等	北海道創生総合戦略、知事の基本政策	事務事業数	4
特定分野別計画	北の大地☆子ども未来づくり北海道計画		
SDGs		総合判定	やや遅れている

予算額（千円）	R6	13,264千円	R5	－	R4	－

施策目標	「第四期北の大地☆子ども未来づくり北海道計画」に基づき、「子どもが健やかに成長できる環境」の環境づくりのため、様々な機会を捉え、子どもや若者、子育て当事者等の意見を聴き、対話しながら、施策への反映を推進する。
現状と課題	（こどもの意見を施策に反映させる取組の推進） 大人が中心となってつくってきた社会の形を「こどもまんなか」に変えるよう、権利の主体である子ども・若者の意見を尊重し、その最善の利益を第一に考え、子ども・若者の社会参画と施策への意見反映のための体制を整備する必要がある。

〈主な取組〉

今年度の取組	（こどもの意見を施策に反映させる取組の推進） ・北海道こどもの意見反映推進事業の実施 ・北海道ユースプランナー制度の運営 ・こども向けパブリックコメントの本格実施 ・北海道こども施策審議会の下にこども部会を設置
実績と成果	（こどもの意見を施策に反映させる取組の推進） ・北海道こどもの意見反映推進事業の実施 　こどもの意見反映推進事業の実施により、1,626件の意見（電子）が聴取できたほか、1校（12人）から直接意見聴取ができたため、施策への反映検討が図られた。 ・北海道ユースプランナー制度の運営 　対象者を拡大（R6.4）することで、登録者が25人増えたほか、登録者に対し道の施策に関する情報提供やパブリックコメントを活用した意識調査を行った。 ・こども向けパブリックコメントの本格実施 　要綱を策定（R6.4）することで、4件のこども向けパブリックコメントが実施され、各種計画等にこどもの意見反映が図られた。 ・北海道こども施策審議会の下にこども部会を設置 　こども施策審議会において、部会の実施を報告した。部会の開催にあたっては、丁寧に対応予定。

参考HP①	こどものいけん	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kms/kodomoikenkeikaku.html
参考HP②	北海道ユースプランナー制度について	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kms/117056.html
参考HP③	北海道こども施策審議会	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kms/shingikai/kodomo_shingikai.html

令和6年度 基本評価調書	【2(1)B_0404】子どもの視点に立った施策推進

＜指標分析＞　⇒成果指標は、原則、取組項目ごとに1つ以上、全体で5つ以下とする

指標名①	増加	%	R4年度	R5年度	R6年度	最終目標(R15)	達成率	指標判定
「こども政策に関して自身の意見が聴いてもらえている」と思うこども・若者の割合		目標値	－	－	70.0	70.0	37.6%	D
		実績値	－	－	26.3			

設定理由	「こどもまんなか社会」の実現に向けた取組状況を測る指標であり、こどもの視点に立った取組の成果を測る指標として設定。 なお、当該成果指標については、こどもの意見反映推進事業の推進による「こどもまんなか社会」の実現のため、令和6年度に新たに設定したものであるため、令和5年度以前の目標値及び実績値は空欄としている。

指標公表時期	毎年、政策評価調書で公表	出典(根拠計画等)	子ども大綱

分析(主な取組と成果)

目標達成に向け、様々な取組を行っているが、R6年度から新たに始めた取組が主のため、大きな成果を上げるには至らなかった。目標達成に向けては、引き続き各種取組を続けることで、道の取組の認知度を上げていくことが最も重要と考える。

指標名②			R4年度	R5年度	R6年度	最終目標(R15)	達成率	指標判定
		目標値					－	－
		実績値						

設定理由	

指標公表時期		出典(根拠計画等)	

分析(主な取組と成果)

指標名③			R4年度	R5年度	R6年度	最終目標(R15)	達成率	指標判定
		目標値					－	－
		実績値						

設定理由	

指標公表時期		出典(根拠計画等)	

分析(主な取組と成果)

指標名④			R4年度	R5年度	R6年度	最終目標(R15)	達成率	指標判定
		目標値					－	－
		実績値						

設定理由	

指標公表時期		出典(根拠計画等)	

分析(主な取組と成果)

指標名⑤			R4年度	R5年度	R6年度	最終目標(R15)	達成率	指標判定
		目標値					－	－
		実績値						

設定理由	

指標公表時期		出典(根拠計画等)	

分析(主な取組と成果)

令和6年度 基本評価調書	【2(1)B_0404】子どもの視点に立った施策推進

〈取組分析（連携状況、緊急性・優先性）〉

連携状況	(課題) こども施策に対する意見を聴くため、こども・若者がアクセスするあらゆる場を通じた周知のため、様々な関係機関との連携の必要がある。 (取組と成果) 市町村、教育委員会、学校等に依頼することで、道単独では難しい周知先に周知することができた。

緊急性 優先性	(課題) 令和5年に施行されたこども基本法に義務付けられた取り組みであるため、持続的な取組が必要である。 (取組と成果) R6年度から新たに始めた取組が主となるため、取組の継続に向けた方法等をこどもの意見を聴きながら検討を進めているところ。

〈その他統計数値等〉

その他統計数値等①	最新年度
意見を聴取したこども・若者等の延べ人数	R6年度：2,087人

「施策目標」「現状と課題」に関する状況

(課題)
これまでも、子どもの未来づくり審議会への中高生の参画等、様々な立場の方々からの意見を伺い、子ども施策を進めてきたところだが、令和4年度のこども基本法制定を踏まえ、今後も子どもたちの意見をより多くいただくよう必要な見直しを行いながら制度を運営する必要がある。

(状況) 本施策の取組を示す「意見を聴取したこども・若者等の延べ人数」は増加していることから、今後は、意見を聴取したこども・若者が「こども施策に関して自身の意見が聞いてもらえている」と実感するように引き続き取組を行っていく必要がある。	a

その他統計数値等②	過年度①	過年度②	最新年度

「施策目標」「現状と課題」に関する状況

(課題)

(状況)	

その他統計数値等③	最新年度

「施策目標」「現状と課題」に関する状況

(課題)

(状況)	

令和6年度 基本評価調書	【2(1)B_0404】子どもの視点に立った施策推進

〈総合判定〉

指　標　判　定	D※	連　携　状　況	○	総　合 判　定	やや遅れている
		緊急性・優先性	○		
		その他統計数値等	a		

※ 成果指標の指標判定が「D」の指標
（「こども政策に関して自身の意見が聴いてもらえている」と思うこども・若者の割合）

	対応方針番号	内容
翌年度に向けた対応方針	①	成果指標「『こども政策に関して自身の意見が聴いてもらえている』と思うこども・若者の割合」の達成率は37.6%である要因は、R6年度から新たに始めた取組であり、周知を含めてまだ十分な状況には至っていないためと考えられることから、数値の改善に向け、内容を検討しながら引き続き取組を行う。
	②	
	③	

〈二次政策評価〉

二次政策評価	【施策目標の達成状況】 総合計画に掲げる、子どもや若者などの視点に立った実効性のある施策を展開するため、子どもや若者、子育て当事者等の意見を聴き、対話しながら、施策への反映を推進することが重要であり、総合計画の政策目標の実現に向け、取組の一層の推進を検討すること。

〈ＡＣＴＩＯＮ〉

二次政策評価への対応		総合計画に掲げる、子どもや若者などの視点に立った実効性のある施策を展開するため、令和6年度の実施状況を踏まえ、実施要領を改正するなど、必要な改善を行うほか、声を聴く対象の拡充や、新たにこどもの権利周知を実施するなど、総合計画の政策目標の実現に向け、取組の一層の推進を図る。
翌年度施策の方向性	対応方針番号	方向性
	①	「こども政策に関して自身の意見が聴いてもらえている」と思うこども・若者の割合を引き上げるため、対面校を拡充し、取組の一層の推進を図る。
	②	
	③	

令和６年度　事務事業評価調書	施策名	子どもの視点に立った施策推進	施策コード	0404

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局室名	前年度からの繰越事業費（千円）	事業費（千円）	うち一般財源	執行体制 本庁	出先機関	人工計	フルコスト（千円）	一次政策評価 対応方針番号	方向性	二次政策評価意見	ACTION 結果への対応（令和6年度） 次年度方向性	二次評価意見への対応状況
1101		一般	こどもの意見反映推進事業費	こどもの意見を道政に反映するための取組を実施	子ども政策企画課	0	10,000	10,000	1.0	0	1.1	18,811	①	改善（指標分析）	【施策目標の達成状況・事務事業の有効性】 ※基本評価調書 <二次政策評価>参照	拡充	総合計画に掲げる、子どもや若者などの視点に立った実効性のある施策を展開するため、令和6年度の実施状況を踏まえ、実施要領を改正するなど、必要な改善を行うほか、声を聴く対象の拡充や、新たにこどもの権利周知を実施するなど、総合計画の政策目標の実現に向け、取組の一層の推進を図る。
1102		事務	北海道ユースプランナー制度	大学生等ユース世代からこども施策をはじめとする道の様々な施策に対し意見・アイデアを募集	子ども政策企画課	0	0	0	0.5	0	0.5	4,005	①	改善（指標分析）	【施策目標の達成状況・事務事業の有効性】 ※基本評価調書 <二次政策評価>参照	改善	
1103		事務	こども向けパブリックコメント	こども向けにわかりやすいやさしい資料によるパブリックコメントを実施	子ども政策企画課	0	0	0	0.5	0	0.5	4,005	①	改善（指標分析）	【施策目標の達成状況・事務事業の有効性】 ※基本評価調書 <二次政策評価>参照	改善	
1104	0402	一般	北海道こども施策審議会	こども施策に関する重要事項を調査審議する知事の附属機関	子ども政策企画課	0	3,264	3,264	1.5	0	1.5	15,279	①	改善（指標分析）	【施策目標の達成状況・事務事業の有効性】 ※基本評価調書 <二次政策評価>参照	改善	
計						0	13,264	13,264	3.5	0.1	3.6						